

令和元年12月6日

智頭町議会議長 大河原 昭 洋 様

智頭町議会議員 安道 泰治
國本 誠一
河村 仁志
高橋 達也
大藤 克紀
岩本 富美男
谷口 雅人
岸本 眞一郎
酒本 敏興
大河原 昭洋

議員派遣結果報告書

令和元年9月20日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

1. 派遣名
智頭町・若桜町議会議員交流会
2. 目的
智頭町、若桜町の両町が抱える諸問題についての情報交換並びに意見交換等を行い、今後の議会活動及び議員活動に資する。
3. 派遣場所
八頭郡若桜町巻米635番地13 「高原の宿 氷太くん」
4. 期 日
令和元年11月26日

5. 内容等

(1) 開会あいさつ

若桜町議会議長 川上 守 氏

若桜町副町長 盛田 聖一 氏

(2) 研 修

『議会における議員の発言 ～一般質問と質疑～ 』

講師：鳥取県町村議会議長会 主幹 谷口 玲子 氏

(3) 意見交換

議会改革について、他

(4) 閉会あいさつ

智頭町議会議長 大河原 昭洋

6. 所感等

(研 修)

両町議会の会議規則において、標準町村議会議規則126条（会議録に掲載又は記録しない事項）に準ずる条文の不備があることを指摘され、今まで問題が発生していなかったことが幸いであり、対応を迫られた場合のことを考え、議会として整備しておかなければならないと気付いた。

会議規則に基づく質疑の方法は両町議会で異なっており、ここにもそれぞれの特徴が出ていると思った。

また、議員の資料要求を執行部側で拒否できることなど、細かい内容まで分かりやすい説明を受けた。

12月定例会を前に、責任を持った発言の重要性、一般質問に臨む姿勢等、改めて勉強になる部分が多く、議員必携を再度熟読することの大切さも感じ、振り返りの意味も込めて今後の議会活動に資する内容であった。

両町議会の議員が一堂に会し再認識できたことは、今までの研修と比べ、ステップアップしたように思えた。

(意見交換)

若桜町議会報告会の運営について、本町議会には改善の必要があることを前提に質問を行ったところ、若桜町議会も実態は万全ではないとの謙遜の意味を含めた説明があったが、現状では、同様の取り組みを本町で導入するにはハードルが高いことを認識した。

若桜町議会は懇談会として全集落を回っているとのことであり、本町では87集落で1ヶ月程度かかるため実施は難しいと考えるが、他の取り組み方は参考になった。

次回の報告会には多くの町民が参加し、町政に興味を持ってもらえるよう、今後の議会報告会のあり方について考え、協議する必要がある。